

決算説明資料 2019年度 本決算

岩崎通信機株式会社

**あらゆる人やモノを繋ぐコミュニケーションで、
生きがい溢れる社会創りに貢献する**

We connect the world,
striving towards building
a society for tomorrow.

◇2019年度 本決算(2019年4月～2020年3月)

1. 連結業績
2. セグメント別業績
3. 連結貸借対照表
4. 連結キャッシュフロー
5. 投資実績

◇2020年度 通期業績予想

6. 業績予想

◇トピックス

7. 当社の新たな取り組みのご紹介

2019年度 本決算

(2019年4月～2020年3月)

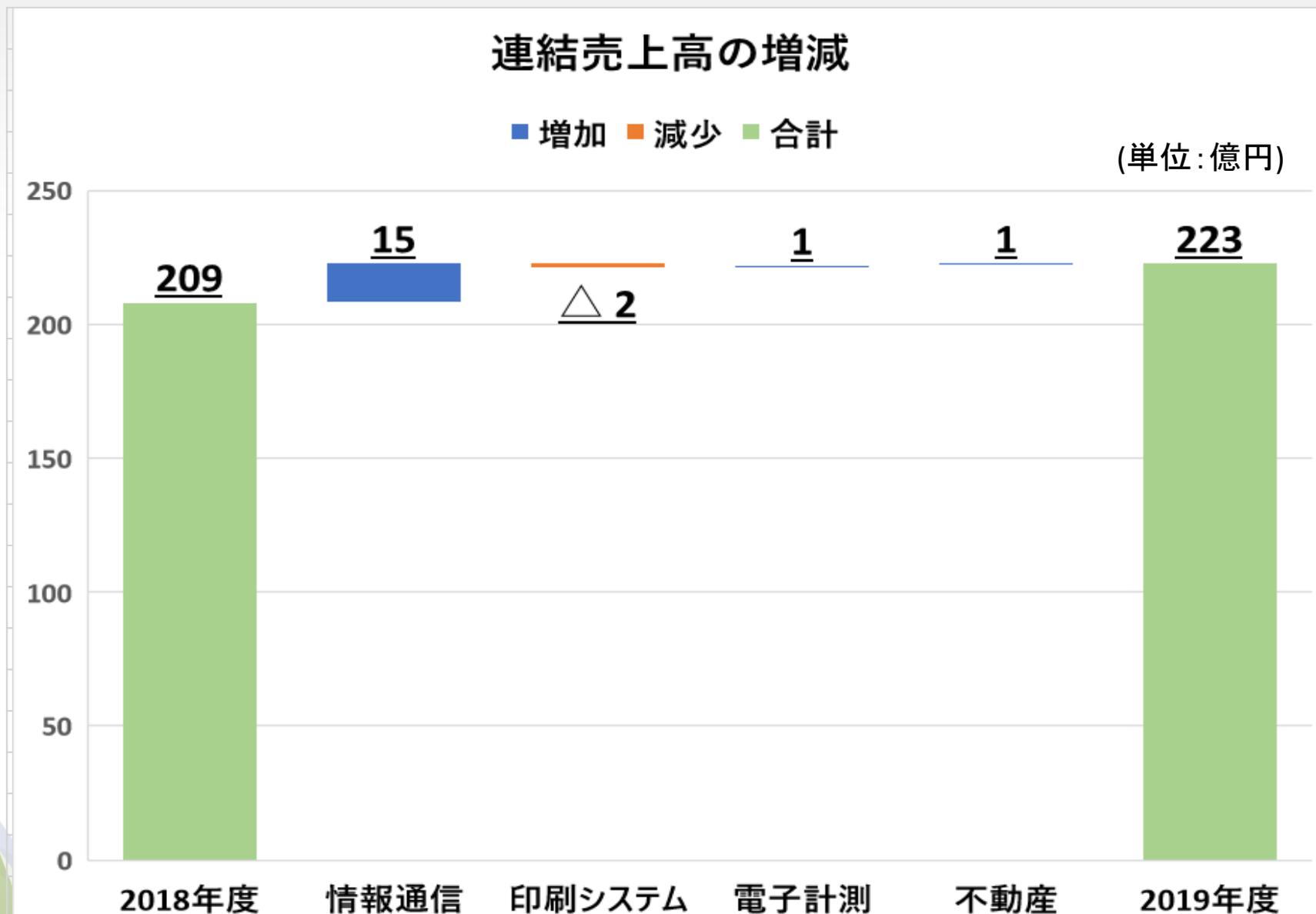
1-1. 連結業績

(単位：億円)

	2018年度 通期	2019年度 通期	増減
	実績（連結）	実績（連結）	
売上高	208.5	223.0	14.5
情報通信	149.9	164.4	14.5
印刷システム	25.5	23.5	△2.1
電子計測	30.0	31.3	1.3
不動産	3.0	3.8	0.8
営業利益	△2.2	1.5	3.7
情報通信	11.7	15.6	3.9
印刷システム	0.1	0.7	0.6
電子計測	1.1	△0.6	△1.6
不動産	1.0	1.4	0.4
調整額	△16.1	△15.7	0.4
営業外損益	0.7	0.6	△0.0
経常利益	△1.5	2.2	3.7
特別損益	2.4	△1.2	△3.6
法人税等	△3.2	0.4	3.6
当期利益	4.1	0.6	△3.5

※保有不動産の賃貸及び管理を事業化したことに伴い、18年度について組み替えて表示。

1-2. 連結業績

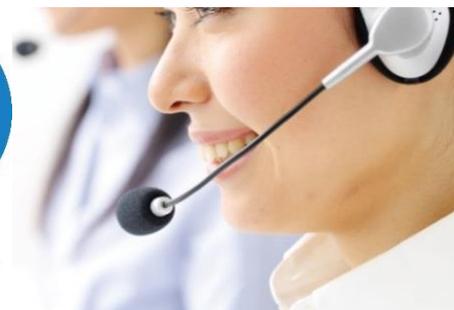


2-1. セグメント別業績（情報通信）

（単位：億円）

	2018年度 通期	2019年度 通期	前期比
	実績（連結）	実績（連結）	
売上高	149.9	164.4	14.5
売上高構成比	(71.9%)	(73.7%)	(1.8%)
セグメント利益	11.7	15.6	3.9

- 売上高は、主に事業所向けコードレス案件及びプラント向けページングシステム並びにコンタクトセンタソリューションの売上高が増加したことにより、前期比+14.5億円の増収。
- セグメント利益は、売上高の増加に伴い、前期比+3.9億円。



2-2. セグメント別業績（印刷システム）

（単位：億円）

	2018年度 通期	2019年度 通期	前期比
	実績（連結）	実績（連結）	
売上高	25.5	23.5	△2.1
売上高構成比	(12.2%)	(10.5%)	(△1.7%)
セグメント利益	0.1	0.7	0.5

- 売上高は、主に前期の印刷機の特殊案件剥落により、前期比△2.1億円の減収。
- セグメント利益は、売上高の減少に対して、原価率の改善により、前期比+0.5億円。



LabelMeister
EM-250H



KIRIKKO Multi Card Slitter
きり子 MC-22T Plus



2-3. セグメント別業績（電子計測）

（単位：億円）

	2018年度 通期	2019年度 通期	前期比
	実績（連結）	実績（連結）	
売上高	30.0	31.3	1.3
売上高構成比	(14.4%)	(14.0%)	(△0.4%)
セグメント利益	1.1	△0.6	△1.6

- 売上高は、主に航空宇宙関連の売上高が増加したことにより、前期比＋1.3億円の増収。
- セグメント利益は、売上高構成の変化に伴う原価率の悪化により、前期比△1.6億円。



2-4. セグメント別業績（不動産）

（単位：億円）

	2018年度 通期	2019年度 通期	前期比
	実績（連結）	実績（連結）	
売上高	3.0	3.8	0.8
売上高構成比	(1.4%)	(1.7%)	(0.3%)
セグメント利益	1.0	1.4	0.4

- 売上高は、主に当社敷地内の保有資産の有効活用により、前期比+0.8億円の増収。
- セグメント利益は、売上高の増加に伴い、前期比+0.4億円。

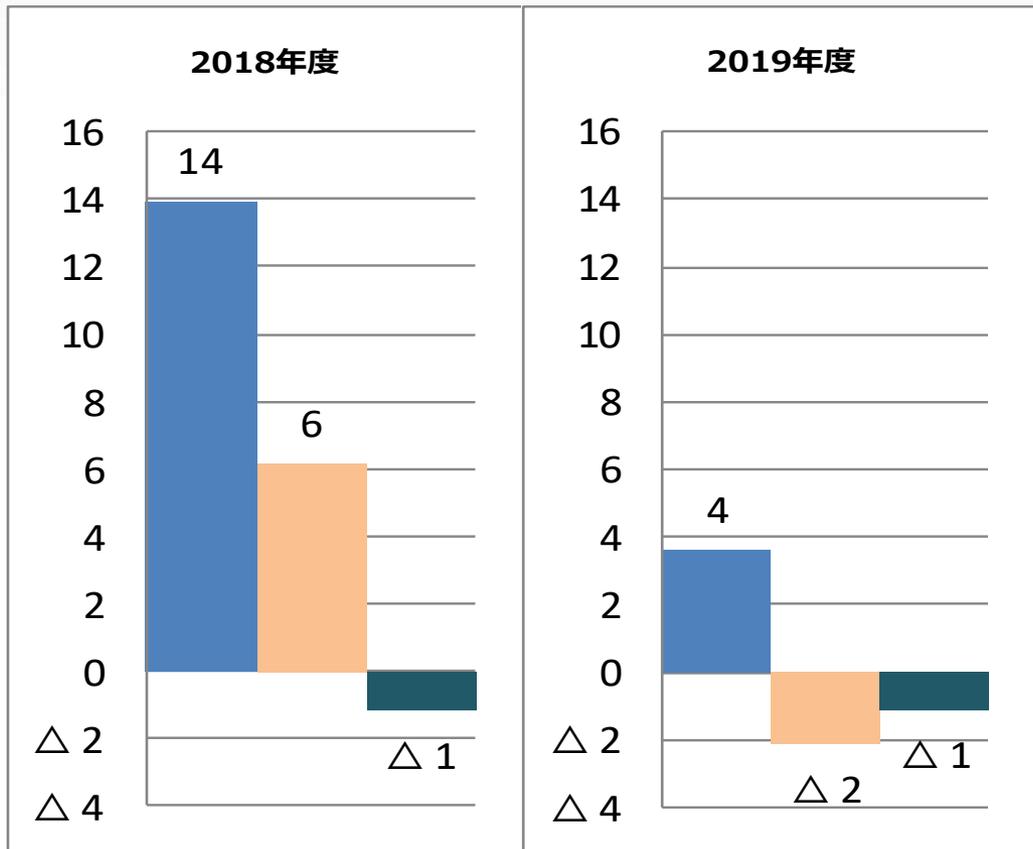
3. 連結貸借対照表

(単位：億円)

	2019年 3月末	2020年 3月末	増減	主な増減要因
流動資産	185.7	187.7	2.0	・受取手形及び売掛金+4.7、仕掛品△2.2 等
固定資産	108.4	101.8	△6.6	・投資その他の資産△7.7 他
資産合計	294.1	289.4	△4.6	
流動負債	38.6	37.3	△1.3	・未払法人税等△2.7、未払金+1.4 等
固定負債	58.7	57.4	△1.3	・繰延税金負債△0.6、退職給付に係る負債△0.4 等
負債合計	97.3	94.8	△2.6	
純資産	196.8	194.7	△2.1	・利益剰余金△0.4、その他有価証券評価差額金△2.1 等
負債・純資産合計	294.1	289.4	△4.6	

4. 連結キャッシュ・フロー

■ 営業CF
 ■ 投資CF
 ■ 財務CF
 (単位: 億円)



2019年度
連結キャッシュ・フロー主な内訳

■ 営業CF	
税金等調整前当期純利益	+1.0
減価償却費	+7.9
売上債権の増加額	△ 4.7
たな卸資産の減少額	+2.2
法人税等の支払額	△ 3.7
その他	+1.0
■ 投資CF	
有価証券の償還による収入	+5.0
有形固定資産の取得による支	△ 4.3
無形固定資産の取得による支	△ 4.8
定期預金の預入による支出	△ 1.2
定期預金の払戻による収入	+3.1
その他	+0.0
■ 財務CF	
配当金の支払額	△ 1.0
その他	△ 0.1

5. 投資実績(連結)

(単位：億円)

	2018年度 通期	2019年度 通期	前期比
	実績(連結)	実績(連結)	
有形	39.0	4.4	△34.7
無形、他	1.7	4.7	3.0
設備投資 合計	40.7	9.0	△31.7
研究開発費	14.7	17.1	2.4
減価償却費	9.9	7.9	△2.0

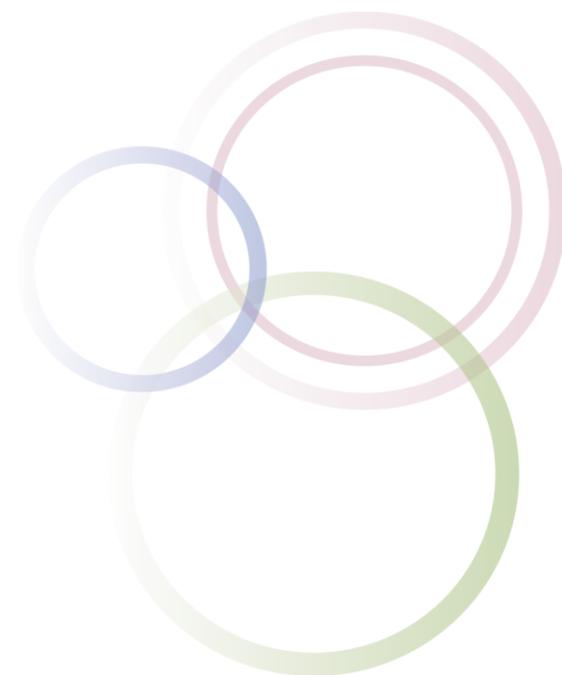
- ・設備投資：有形△34.7億円は、主に前期の新規収益物件の取得36.7億円による。無形、他+3.0億円は主力製品の後継機のソフトウェアの計上による。
- ・研究開発費：主力製品の後継機の開発開始により+2.4億円。
- ・減価償却費：前期までは過年度の研究開発投資による償却費があったため、△2.0億円。

2020年度 通期業績予想

【2020年度通期業績予想】

現段階において新型コロナウイルス感染症の収束時期を見通し、当社グループの業績に与える影響を合理的に算出することは極めて困難であるため、業績予想は「未定」とし、算出が可能となった段階で速やかに公表します。

トピックス



7-1. 当社の新たな取り組みのご紹介

■ 2020年2月12日付

任意波形／ファンクション・ジェネレータ SG-4200シリーズ 2モデルを発売

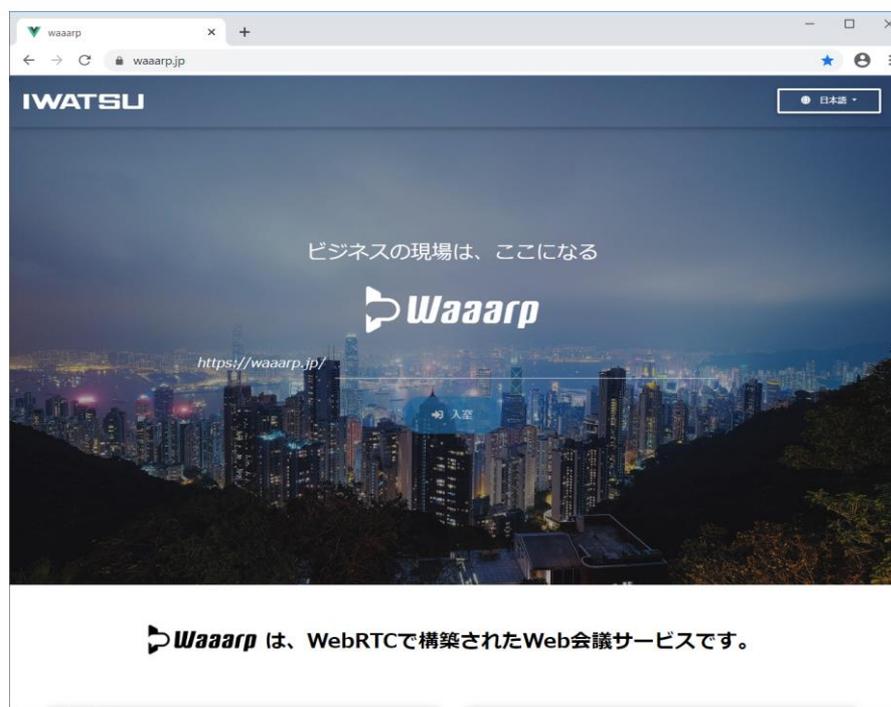


SG-4200シリーズは、10万円(税別)以下という低価格ながらファンクション発生器、任意波形発生器、ノイズ発生器、パルス発生器、高調波発生器、アナログ／デジタル変調器、およびカウンタなど、多くの機能を1つにまとめた小型・2chの多機能発生器です。教育現場、生産、試験など幅広い分野でご活用いただけます。

7-2. 当社の新たな取り組みのご紹介

■ 2020年6月17日付

アプリ不要のWeb会議システムを無償リリース ～Withコロナの新しい働き方を支援～



Waaarp は、ブラウザから専用サイトにアクセスするだけで、だれでも簡単にWeb会議に参加できます。

7-2. 当社の新たな取り組みのご紹介



【名称】

Waaarp(読み: ワープ)

離れた場所から瞬間移動(ワープ)してきたかのように、すぐに会議が始められる、の意

当社は、2020年7月1日より期間限定で、簡単かつセキュリティ性の高いWeb会議システム「Waaarp(ワープ)」の無償提供を開始いたします。社内、社外を問わず、だれでも簡単に参加できるWeb会議システムで、かつビジネス利用に耐え得るセキュリティ性を備えており、テレワークにおける社内連携やリモートでの営業活動にご利用いただけます。

本サービスは、無償Web会議として評価の高い「BIZMEE(ビズミー)」を提供している株式会社grabss(グラブス)、ユーザエクスペリエンスの知見を有する株式会社フライング・ペンギンズとの共同開発です。

ビジネス領域における情報コミュニケーションに長く携わってきた当社の経験及び共同開発で協業する各社の強みを活かし、今後も“ニューノーマル”と言われる新しい働き方を支援してまいります。